

5. 魅力と活気のあるだれもが住みたい楽しいまち

—都市基盤の整備—

地方中核都市にふさわしい都市拠点の形成により、だれもが訪れ、住みたくなるまちづくりを推進するとともに、都市間の交流・連携、都市交通の円滑化、地域情報化を推進し、魅力と活気のある楽しいまちをつくります。

1. 都市拠点整備・再開発

- 甲府駅周辺地区の整備
- 既成市街地の再整備
- まちなか居住の再生
- 鉄道駅を核としたまちづくりの推進

2. 市街地の整備

- 計画的なまちづくりの推進
- 市街化進行地域の整備
- 新市街地の整備

3. 交通

- 高速広域交通網の整備促進
- 交通環境の整備
- 公共交通機関の利用促進
- 総合的な公共交通・交通体系の検討

4. 幹線道路

- 広域・地域交通道路の整備
- 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進

5. 生活道路

- 市道等の整備
- 道路環境の整備
- 道路の維持・管理

6. 地籍調査

- 事業の推進
- 調査結果の利活用

7. 地域情報化の推進

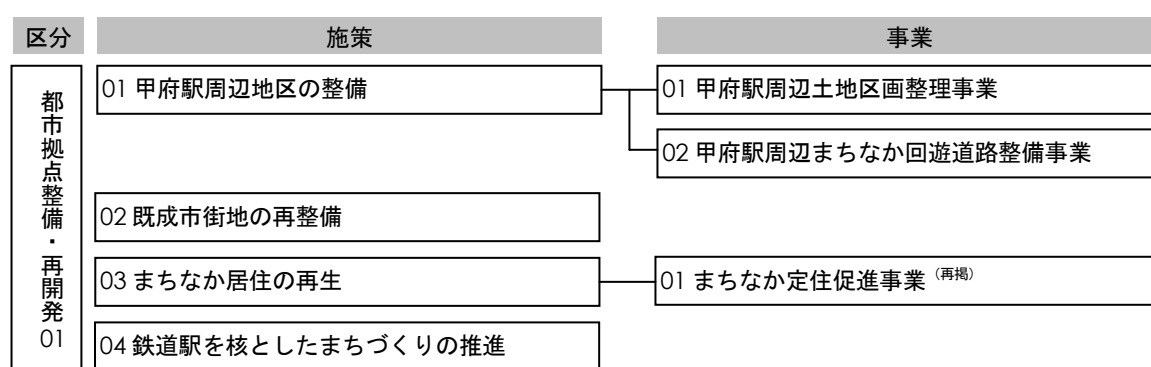
- 電子自治体の推進

1 都市拠点整備・再開発

施策の基本的考え方

- 甲府駅周辺の大規模空閑地を活用し都市基盤の整備を充実し、新たな拠点施設の整備と企業立地の促進に努めます。
- 既成市街地において、住環境の改善及び安全なまちづくりの促進に努めます。
- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 鉄道駅と連携した学園交流の拠点づくりに努めます。

施策・事業の体系



01 甲府駅周辺地区の整備

■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.05010101】	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		

事業概要

- 甲府駅周辺の鉄道跡地等の大規模空閑地を活用し、都市環境を整備すると共に、新たな都市拠点の形成を図るため、道路・公園等の公共施設の基盤整備を行う。

現況と課題

- 換地設計に基づく仮換地指定及び建物移転補償等地権者との合意形成
- JR 軌道下横断部分についての JR 協議

今後の事業展開

- 事業計画に基づき、平成 35 年度の事業完成に向け、事業の計画的・効率的な推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
公共施設整備率 (%)	29	33	39	48	53	53
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	1,377,267		1,432,714	1,588,175	1,339,525	

■甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 【事業No.05010102】	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		

事業概要

- 甲府駅周辺拠点形成事業により整備された甲府駅北口の拠点施設及び、平成 24 年度完成予定のシビックコア地区と甲府駅南口方面の拠点施設を結ぶ歩道等を整備し、中心市街地の回遊性を高めるとともに、住環境の向上や来街者のまち歩きの実便性向上を図る。

現況と課題

- 建物移転補償に係わるスケジュール管理

今後の事業展開

- 都市再生整備計画に基づき、平成 24 年度の事業完成に向け着実な整備促進を図り、事業効果の早期実現を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
整備工事の進捗率 (%)	11.10	14.65	40.00	0.00	0.00	40.00
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	262,864		83,178	—	—	

03 まちなか居住の再生

■まちなか定住促進事業 【事業No.05010301←No.03040101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤルイン	237- 5814
			計画係		

2 市街地の整備

施策の基本的考え方

- 計画的なまちづくりを住民と協働で推進します。
- 地区計画*制度を活用し、地域の特性を生かした住民によるまちづくりを推進するとともに、適切な土地利用を図る民間開発の誘導に努めます。
- 面的整備によるまちづくりの促進に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
市街地の整備 02	01 計画的なまちづくりの推進	01 都市基本計画推進事業
	02 市街化進行地域の整備	
	03 新市街地の整備	

01 計画的なまちづくりの推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.05020101】	担当部課係名 都市建設部	都市計画課	ダイヤル 237-5814
		計画係	

事業概要

- まちづくりに関する基本計画を策定し、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。
- 魅力のある持続可能なまちづくりに向け住民意見の反映が求められる状況下、まちづくりに関する計画素案の検討など、まちづくりに対する住民提案に向けた活動や取組みを市民主体または市民との協働により行う。

現況と課題

- 市街地の整備や地域特性を活かす良好な景観形成には、個人の権利に対する規制や制限も伴うことから市民の合意形成が重要である。

今後の事業展開

- 「甲府市景観形成基本計画」、「甲府市景観条例」及び「甲府市景観計画」を踏まえた景観のルールづくりを行うなど、住民協働によるまちづくりを推進する。

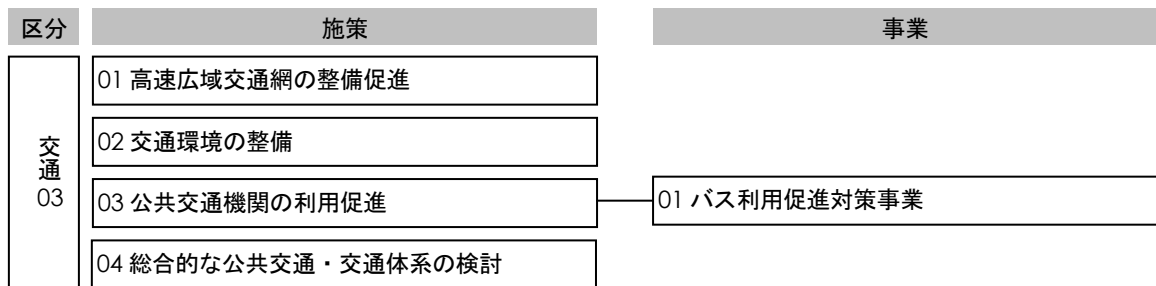
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24～26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
まちづくりに関する基本計画の策定(計画数)(件)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	1	2	1	2	1	4
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	9,727		21,674	9,600	2,000	

3 交通

施策の基本的考え方

- 新たな国土軸*の形成による道路ネットワークの構築により、社会経済活動の変化に対応した地域活性化を図るため、高速交通網と地域高規格道路*の早期整備・促進に努めます。
- 市内中心部を通過する交通を排除することにより交通渋滞の解消を図るため、放射型道路と有機的に連結する環状道路の整備・促進に努めます。
- 在来鉄道及び路線バスの利便性を向上させるとともに、高齢者や障害者の日常の移動の手段として利用できる環境を整え、利用促進に努めます。
- 新時代に対応し、新たな交通システム*や既存の交通体系の連携改善により、新時代の交通体系を総合的に検討します。

施策・事業の体系



03 公共交通機関の利用促進

■バス利用促進対策事業 【事業No.05030301】	担当部課係名	企画部	交通政策課	ダイヤル	237-5109
			交通政策係		

事業概要

- 地域の主要生活交通であるバス路線を維持・確保していく。

現況と課題

- 市内の路線バスは赤字幅が増大しているため、バス事業者の路線退出が懸念される。
- 代替バス路線においては、利用者の低迷から公費負担が高んでいる。沿線自治体やバス事業者との利用促進対策が課題である。

今後の事業展開

- 利用低迷が著しい路線については乗降調査などを実施し、必要性を検証・分析する中で、バス事業者及び山梨県、沿線自治体と継続的に協議し改善策を講じるとともに、利用促進のためのPRに努めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
補助路線及び代替バス路線の延べ利用者数 (千人:路線全行程)	平成22年度 3,428	平成23年度 3,428	平成24年度 3,976	平成25年度 3,986	平成26年度 3,996	3,996
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	84,867		86,868	86,868	86,868	

4 幹線道路

施策の基本的考え方

- 広域交通網の整備やそれと連携する地域の骨格となる道路網の整備に努めます。
- 災害時の避難路・都市の景観やすべての人に利用しやすい道づくりに配慮した計画的な道路整備に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
幹線道路 04	01 広域・地域交通道路の整備	01 和戸町竜王線整備事業
	02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進	01 都市計画道路整備検討事業

01 広域・地域交通道路の整備

■和戸町竜王線整備事業 【事業No.05040101】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 中央四丁目工区は「第五次甲府市総合計画」や「甲府市都市計画マスタープラン」等の計画において、中心市街地の骨格を形成する「こうふ都心環状線」として、また、東西方向の放射型道路として位置付け、中心市街地の交通を円滑にすると共に、快適な歩行者ネットワークの形成や来街者の増加に寄与するものとして、早期整備が必要な路線としている。また、整備優先路線の中にも最優先で整備する路線（工区）となっており、平成22年度より詳細設計に入り、平成28年度の完成を目指す。

現況と課題

- 起業地には建物や店舗が数多く存在するため、関係地権者の合意形成が課題である。

今後の事業展開

- 平成24年度 用地買収、平成25年度 用地買収及び工事
平成26年度 用地買収及び工事、平成27年度 用地買収及び工事、平成28年度 工事

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値 (H24~26)
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
路線整備率(%)	—	—	—	—	10			10
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H24~26)	
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
	200,000		412,708	413,200	501,400	1,327,308		

02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進

■都市計画道路整備検討事業 【事業No.05040201】	担当部課係名 都市建設部	都市計画課	タイム イン	237- 5814
		計画係		

事業概要

●本市の都市計画道路整備計画は、高度経済成長期の人口増加や経済成長に伴う交通量の増大などを背景に、その多くを定めてきた。しかし、近年、人口減少や少子高齢化の進展など都市を取り巻く社会経済状況の大きな変化から、都市計画道路の位置づけや機能を再確認する中で、都市計画道路整備の見直しを行い、効率的・効果的な都市計画道路の整備を図る。

現況と課題

- 都市計画道路の必要性を再検証する必要がある。
- 効果的、重点的な投資を行っていく必要がある。
- 都市計画道路の整備の見直し等を示す必要がある。

今後の事業展開

●甲府市の都市計画道路の多くは、右肩上がりの社会経済状況を前提に計画されているが、計画決定から長期間を経過する間に、都市を取り巻く社会状況や人々の価値観が大きく変化している中で、平成 21 年度より都市計画道路の見直しを図ることとした。ガイドラインを策定して見直しを行い、検討委員会の立上げ・実施、県及び近隣自治体との協議、市民との合意形成に向けてのパブリックコメント・住民説明会の実施などを経て、見直し路線の選定を行う。

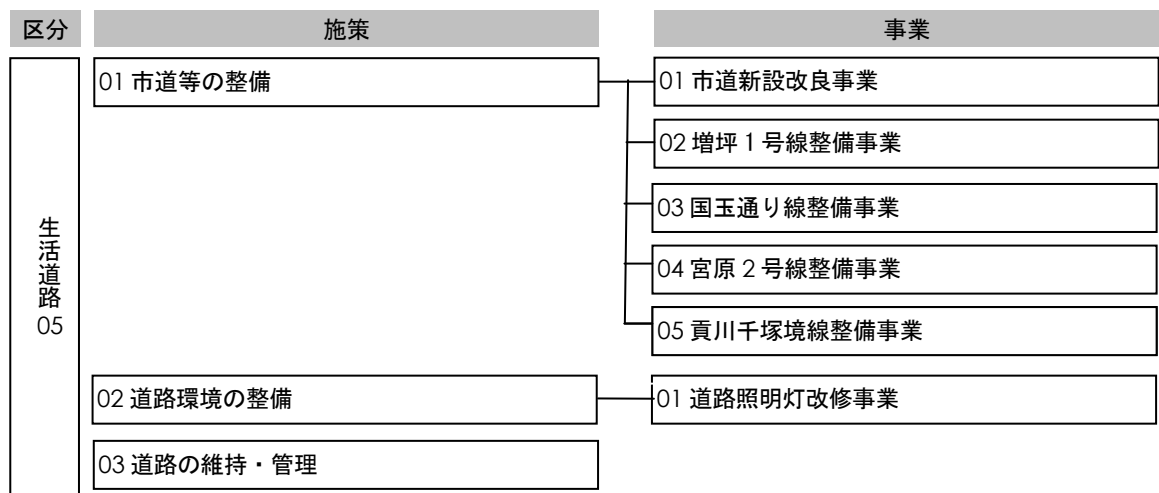
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
見直し路線の確定率(%)	50	80	90	100		100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	4,641		888	300	—	

5 生活道路

施策の基本的考え方

- 地域の利便性を図るために道路整備を推進するとともに、交通安全や防災上から狭小道路の拡幅整備に努めます。
- バリアフリー化*・植栽・電線類の地中化*を推進し、人にやさしい道づくりに努めます。
- 市道の適切な維持補修、道路工事の適切な施工管理の推進、不法占拠の是正推進や里道等の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系



01 市道等の整備

■市道新設改良事業 【事業No.05050101】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 生活道路（市道）を整備し、地域環境の改善や交通の安全性及び利便性の向上を図る。

現況と課題

- 限られた予算内で、住民要望と事業効率の整合を図り、施工路線を選定しなければならない。
- 市街地の路線は、補償費が大きく迅速な事業進捗は困難である。

今後の事業展開

- 市民や地域から出された要望路線について検討を行い、緊急度や費用対効果の高い路線を選択し、迅速な施工を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
市道改良率 (%)	66.86	66.94	67.08	67.24	67.32	67.32
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	85,200		95,400	95,000	85,000	

■増坪1号線整備事業 【事業No.05050102】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線は、甲府市東南部における幹線道路であり、市立甲府病院や小瀬スポーツ公園に集中する交通量を、国道 20 号と市道寺前線に分散させ、地域の交通流の円滑化や交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 道路改良工事施工に伴い、既存水路の復旧工事を施工するが、水路の構造・施工方法等について地元関係者との協議が必要となっている。

今後の事業展開

- 事業完成に向け、計画的な事業推進を図っている。特に総合評価を踏まえ、早期供用開始を図り、投資効果を高めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
路線整備率 (%)	61.9	84.4	100	—	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	215,000		156,000	—	—	

■国玉通り線整備事業 【事業No.05050103】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線は、市道上阿原寿町線と都市計画街路和戸町竜王線をつなぐ重要路線であり、交通環境の改善を行う中で車両及び歩行者の安全性・快適性の確保を図る。

現況と課題

- H18年度に事業を再開したが、残り地権者との交渉が難航している。

今後の事業展開

- 粘り強く用地交渉を進め、早期の工事完成を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
路線整備率 (%)	38.82	38.82	38.82	38.82	82.6	82.6
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	13,800		20,582	57,582	110,582	

■宮原2号線整備事業 【事業No.05050104】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線は、主要地方道甲府中央右左口線と国母工業団地を結ぶ幹線道路として整備し、地域内道路の渋滞解消、地域の有効な土地利用の促進及び交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 本路線の中間部にある鎌田川への橋梁架設にあたり、河川管理者との協議を図っていく。
- 施行箇所が工業団地内となるため、交通規制に伴う協議・調整が必要となる。

今後の事業展開

- 早期の事業完成に向け、計画的な整備を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
路線整備率 (%)	0	0	25	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	104,500		126,657	160,000	—	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■貢川千塚境線整備事業 【事業No.05050105】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線と主要地方道中下条甲府線との交差点部を拡幅改良することにより、道路の渋滞解消及び通学路の安全確保などの利便性の向上を図る。

現況と課題

- 交差点改良に伴う交通管理者及び県道管理者との協議や関係地権者との合意形成が課題となる。

今後の事業展開

- 平成24年度 改良工事・完成

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
路線整備率 (%)	平成22年度		100	—	—	100
	平成23年度	0				
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	63,000		31,000	—	—	

02 道路環境の整備

■道路照明灯改修事業（省エネ・グリーン化推進事業）【事業No.05050201】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5843
			道路係		

事業概要

- 省エネ・グリーン化推進事業の一環として、省エネ化を目的に、甲府市が管理する道路照明灯を水銀灯からLED灯への改修を行うことにより、消費電力を大幅に抑え、温室効果ガスの効果的な削減に取り組む。

現況と課題

- LED灯照明設備は最新の技術であり、実績が乏しく、価格がまだ水銀灯よりも高価であるので、今後、道路照明灯の老朽化が進んだものから順次LED灯に切替えるが、費用対効果の検証結果を踏まえながら導入を進めていく必要がある。

今後の事業展開

- 平成23年度に道路照明灯の現況調査を実施し台帳整備を行ったことから、これらのデータを活用して既設道路照明灯の老朽化を考慮した改修計画を立案する。実施にあたっては事業成果による温室効果ガスの削減効果と費用対効果を検証するなかで、効率的な推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
CO2削減効果 (t/年)	平成22年度 0	平成23年度 26.14	1.39	1.73	1.92	5.04
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	25,110		2,040	2,800	3,100	

6 地籍調査

施策の基本的考え方

- 地権者及び推進委員等の理解と協力を深め、調査体制の強化に努めます。
- 調査結果を生きた情報として幅広い活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
地籍調査 06	01 事業の推進	01 地籍調査事業
	02 調査結果の利活用	

01 事業の推進

■地籍調査事業 【事業No.05060101】	担当部課係名 都市建設部	地籍調査課	ダイヤルイン 223-6103
		地籍調査係	

事業概要

- 一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、地籍の明確化を図る。
- 調査の成果は、個人の取引から公的機関による地域の整備まで、土地に関するあらゆる行為のための基礎データとなる。

現況と課題

- 市街地域に入り土地の権利関係等、地権者間の複雑な問題が多く、これらの問題解決に時間を要する。

今後の事業展開

- 地籍調査は個人・地域の安心・安全に直結する調査であり、住民福祉の向上に有効に寄与することから、事業計画に基づき、外部委託のさらなる活用を踏まえ、迅速かつ的確な事業進捗を図る。

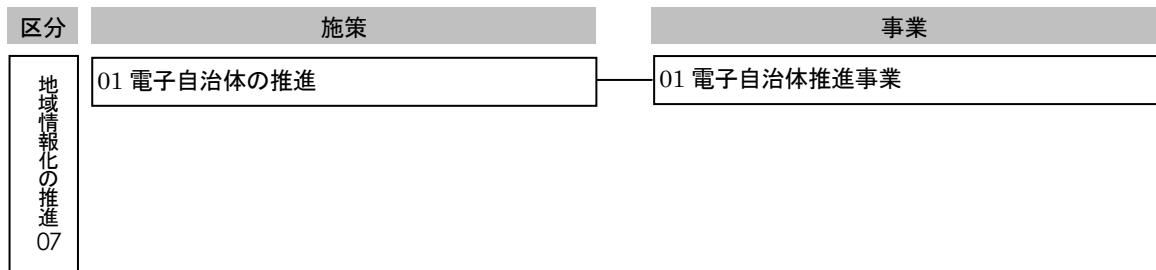
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
実施計画調査面積に基づく調査率 (実施面積/実施計画調査面積)	42.81	43.43	43.98	44.60	45.27	45.27
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	64,055		80,517	69,680	70,800	

7 地域情報化の推進

施策の基本的考え方

- 甲府市地域情報化計画*に基づき、情報通信技術（ICT）*を利活用した簡素で効率的な行政運営を図ると共に、住民視点に立った利便・効率・活力が実感できる電子自治体*の実現に努めます。

施策・事業の体系



01 電子自治体の推進

■電子自治体推進事業 【事業No.05070101】	担当部課係名	総務部	情報推進課	ダイヤル	237-5214
			情報推進係		

事業概要

- 電子自治体の推進にあたっては、甲府市地域情報化計画に基づき情報通信技術（ICT）の活用により、利便・効率・活力を実感できる電子自治体を実現できることを目標に、住民視点と費用対効果の視点に立ち、行政サービスの高度化と住民情報化の課題解決に取り組む。

現況と課題

- 平成21年度に策定した甲府市地域情報化計画（2010～2012）に基づき、行政サービスの高度化や住民情報化について推進を図っている。事業を推進する上で計画と現状の乖離を解消するとともに次期地域情報化計画の策定に向け検証を行う必要がある。

今後の事業展開

- 甲府市地域情報化計画については、2010～2012の3カ年計画である。今後は現計画の推進を図ると共に検証し次期計画の策定を行っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値 (H24～26)		
地域情報化計画の推進 (2010～2012)	23	63	100	50	75	75		
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計		
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	(H24～26)		
	8,028		7,719	7,719	7,719	23,157		